

令和2年(2020年)7月18日(土)、8月22日(土)

第1・2回 能勢版「寺子屋」を開催しました

●第1回

能勢版「寺子屋」とは、「能勢の高校を応援する会」が主催したワークショップ、「未来フォーラム」から生まれた、住民と高校生がともに活動する新しい学び場です。その開校式が、能勢分校体育館で行われました。「能勢の高校を応援する会」西田会長から開校宣言があり、府議、能勢町、豊能町の来賓の方々から熱いメッセージを戴いたあと、能勢分校生徒2人による発表、卒業生4人のミニプレゼンテーション、そして、川田ファシリテーターによる体験チームワークショップを行いました。

生徒の発表では、北海道の浦幌町での農業体験から浦幌での地域活性化を学んだこと、秋田国際教養大のグローバリズム、陸前高田市の戸羽市長との懇談での地域おこしで学んだことを発表しました。また、卒業生4人は能勢高校で得た体験について発表しました。最後は寺子屋体験ワークショップを行いました。地域活性化を目的に開校した寺子屋らしく、みんなで共感する、第一回能勢版「寺子屋」となりました。

●第2回

今回は分校生による「地域魅力化クラブ」が、自分たちで情報を集めて作り上げた『能勢のカフェ案内』について発表しました。また、ドイツ留学生の白井ヤンさんが能勢町の活性化には何が必要か、『ドイツから学べる事』という発表を行い、森林活用が大切だと話しました。また、ヤンさんのホストファミリーであり、「きらら森のいえ」という里山保育所を運営されている稲原さんから『森と水の森林ファンドドキュメンタリー映像を作ろう!』の発表があり、さっそく何名かの高校生が映像作りへの参加を希望しました。どんな作品ができるか、これからの楽しみです。



←ドイツ留学生ヤン